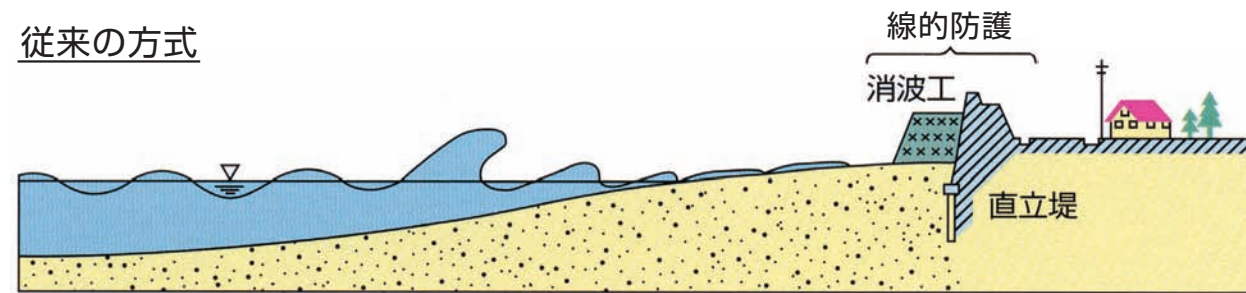


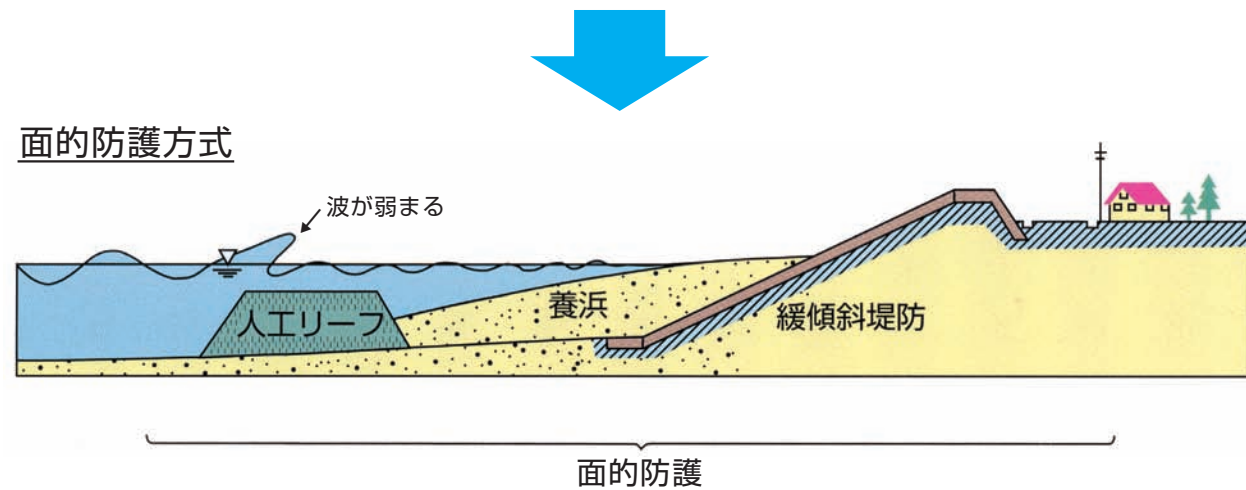
◎面的防護方式

海浜の整備を基本とした複数の施設（離岸堤、人工リーフ、緩傾斜堤、人工海浜等）により面的な広がりを持って波浪等の外力を沖合から徐々に弱めながら防護する方式で、施設の耐久性を高め、侵食対策も含めた質の高い海岸保全を図るとともに、海浜の利用や景観も高めます。

従来の方式



面的防護方式



新しい海岸制度のスタート  
(社)全国海岸協会

久美浜海岸（箱石葛野湊宮海岸）侵食対策事業（エコ・コースト）

施工場所：京丹後市久美浜町

事業年度：平成5年度～

久美浜海岸は、久美浜湾と外海を隔てる小天橋と呼ばれる砂州と雄大な砂浜、砂丘が延々と約6 kmにも及ぶ美しい長大な海岸です。

また、海岸の東側の箱石砂丘には、絶滅危惧種に指定されているトウテイランをはじめとした海浜植物が多数自生しており、人工リーフの整備により侵食対策を行っています。

平成8年度には自然環境に配慮し、自然と共生する海岸としてエコ・コースト事業にも指定されています。



平成8年の侵食による浜崖



箱石地区に自生するトウテイラン



【現況平面図】

整備済内容（平成18年度末）  
人工リーフ（8基）L=1,342m